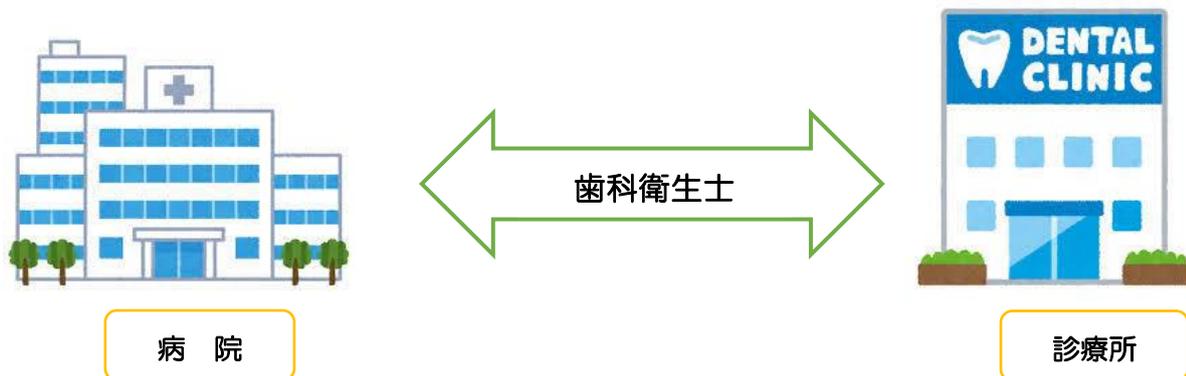


《歯科衛生士連絡書（周術期）の活用について》

この歯科衛生士連絡書（周術期）は、病院と診療所の歯科衛生士が、歯科医師の周術期口腔機能管理計画に基づき、主にかん治療の患者さんに口腔衛生処置および専門的口腔衛生処置を行った際に、情報を共有・把握するために使用するものです。歯科医師の確認を得て、歯科衛生士宛に、歯科医師の「診療情報提供書」と共に同封して患者さんに渡してください。

使用にあたっては、記入について、記入例（手術・化学療法、放射線療法、緩和）を参照し、医療機関がかわっても、がん患者さんが安心して口腔衛生処置や、専門的口腔衛生処置が受けられるよう活用してください。

この歯科衛生士連絡書（周術期）は、日本歯科衛生士会のHPよりダウンロードできます。



歯科衛生士連絡書（周術期）

- 記入例（手術・化学療法、放射線療法、緩和）を参考に、空欄があっても構いませんが、患者さんの最新の状態を把握するためにできるだけ記入しましょう。
- 血液検査データは、別に添えられている場合もあります。専門的口腔衛生処置を行う上で、重要なデータになりますので必ず確認しましょう。
- 歯科医師の「診療情報提供書」と共に、歯科衛生士連絡書（周術期）が同封されていることを患者さんに伝えましょう。
- 記入後に、必ず控えを取りカルテと共に保管してください。

歯科衛生士連絡書（周術期）の記入について

- それぞれの項目について、記入の際にご参照ください。

記入例

手術・化学療法	手術・化学療法、放射線療法、緩和ケアを行っている患者さんの記入例です。 記入について（別紙）を参照し、各項目に数値、チェックを入れてください。 指導内容、連絡・質問事項は、詳しく記入することが望まれます。
放射線療法	
緩和	